



【上右】 首長部門のグランプリを獲得した山中光茂・松阪市長。「今からがスタートライン。改めて市民のみなさんとまちづくりを進めていきたい」と意気込みを語った。

【上左】 市民部門の「マニフェスト推進最優秀賞」は、神奈川県立麻生高校が受賞。マニフェストに新しく、爽やかな風を吹き込んだ。今年度から新設された最優秀議会改革賞は三重県議会が受賞。審査委員の千葉茂明・本誌編集長は、「同議会が掲げる「分権時代を先導する議会を目指す」にふさわしい先駆的な取り組みを続けている。議会改革のトップランナーとしてさらなる高みに挑戦してほしい」と称えた。

【下左】 今回、特別審査委員を務めた女優の秋吉久美子さん。ユニークな感性で、本田敏秋・遠野市長に特別賞を授与した。



【上】 06年から続く取り組みが評価され、地方議会部門のグランプリに輝いた自由民主党川口市議会議員団。「対話と責任」をキーワードに活動を進める。審査委員長特別賞を受賞した爆笑問題の2人もプレゼンターを務めた。

【左】 北川正恭・審査委員長は「二元代表制での議会の活躍、市民と議会との関係づくりという点で素晴らしいベストプラクティス」と賞賛。



# 広がる、深まる マニフェスト

第5回マニフェスト大賞、グランプリは  
山中・松阪市長と自民党川口市議会団に

11月5日、東京・六本木アカデミーヒルズでマニフェスト大賞授賞式が行われた。第5回目となる

今年度は、過去最多の1291団体1540件が応募。その中からグランプリ及び5部門の最優秀賞、さらに審査委員会特別賞などが発表された。グランプリに選ばれたのは、山中

光茂・三重県松阪市長（首長部門）と埼玉県川口市議会の自由民主党川口市議会議員団（地方議会部門）。就任2年目の山中市長は、市長選に

際し、幅広く地域の声を反映し、「小学5年生にもわかる政治」を心がけてマニフェストを作成。それにとどまらず、政策の実施状況や今後の方向性などを示した「マニフェスト・レポート」の公表、重要政策の決定前に市民の声を直接聴き、反映させる「シンポジウム・システム」

の構築など、マニフェスト型の行政運営が高く評価された。

自民党川口市議団は、06年に党派マニフェスト「川口改革プログラム」を作成。その後、市民への報告会を開催し、進捗状況などを伝えるとともに、市民アンケートなども実施して次期マニフェスト（政策集）をつくりあげ、マニフェストサイクルを一回転させたことが特筆された。

いずれもマニフェストの内容だけでなく、作成手法やその後のサイクルの運用過程などが評価を受けた形だ。なかでも徹底した市民との関係づくりは注目される。

山中市長は受賞の挨拶で「私自身は決して自治体の首長として能力が高いわけではない。今回の受賞は、市民の力の強さ、常に現場で市民の痛みと幸せにかかわっている職員の

尽力のおかげ」と述べ、「マニフェストという契約を結ぶことで、市民の意識が大きく変わり、市民力が高まってきたのではないかと。地域で市民分権を徹底するなかで、市民のみならず、役割と責任をしっかりと負っていただく、そういうまちづくりを進めていきたい」と力を込めた。

このほか「最優秀成果賞」を千葉県流山市議会と鳥取県倉吉市議会の12名の議員有志が、「最優秀政策提言賞」を東京都足立区議会の長谷川貴子議員と神奈川県議会の菅原直敏議員が、「最優秀コミュニケーション賞」を石川県加賀市議会の室谷弘幸議員が、「最優秀議会改革賞」を三重県議会がそれぞれ受賞した。

さらに市民部門の「マニフェスト推進最優秀賞」には、神奈川県立麻生高校の「生徒から始まるマニフェストサイクル」が選ばれた。同校では3年生の2クラスが授業の中でマニフェスト・リクエスト（政策案）をまとめ、参院選の候補者など各政党に送付。それに対するコメントを得たうえで、参院選の模擬投票を実施した。

同校の風巻浩教授は「現在の学校の政治に関する教育は、カタログだけを見て突然自動車に乗るようなもの。参加への学習がもっと多くなれ

ば」と挨拶。トロフィーを受け取った朝倉若菜さんも緊張しながら「ここで学んだことを生かして将来に役立てたい」と力強く話した。

また、女優の秋吉久美子さん、クリエティブディレクターの箭内道彦さんの2人の特別審査委員が審査委員会特別賞を選定。岩手県遠野市の本田敏秋市長と同じく岩手県の「地域政党いわて」が受賞した。

さらに、テレビ番組「太田光の私が総理大臣になったら：秘書田中。」などでマニフェストへの関心を高めたととして、タレントの「爆笑問題」に審査委員長特別賞を贈呈。会場に駆けつけた2人は「冗談でやってきたことでこんな賞をもらってありがたい」と笑いをとりながら、グランプリのプレゼンターも務めた。

最後に審査委員長の北川正恭・早大大学院教授は「多くのみなさんの力を借り、政治家だけ、関係の学者や関係者だけということではなく、広く国民全体が変わっていかねばと盛り上げていただいた」と感謝の言葉を述べるとともに、「団体自治から住民自治へという世界に踏み込んでいくなかで、これから本当の改革が始まる。地域をリードしていくみなさんに、一層のご精進をお願いしたい」と呼びかけた。

※このほか、「マニフェスト大賞（首長）」の審査委員会特別賞として芹澤勲・長野県小諸市長が、「最優秀コミュニケーション賞」部門の審査委員会特別賞として一木重夫・東京都小笠原村議会議員がそれぞれ選ばれた。